

会 議 録

| | | |
|-------------------------|--|---|
| 会 議 名 | 第1回東浦中学校・東浦文化広場基本計画検討委員会 | |
| 開 催 日 時 | 2026年5月7日（木）午前10時から正午まで | |
| 開 催 場 所 | 東浦町役場 合同委員会室 | |
| 出 席 者 | 委 員 | 鈴木賢一氏（委員長）、小松 尚氏（副委員長）、榊原政策課長、中村財政経営課長、内田人事課長、山本防災課長、筒香学び支援課長、青木教育課長、前床住民自治課長、浅田環境課長、川瀬建築施設課長、田中建設企画課長、静間土木管理課長、岩本主幹兼指導主事 |
| | 事務局 | 政策企画部 鈴木部長 財政経営課 中村課長（兼務）、久野課長補佐兼係長、稲丸主事 |
| 議 題 （公開又は非公開の別） | 1 検討委員会の設置について (1) 検討委員会設置要綱 (2) 委員長、副委員長の選任 2 協議事項 (1) 基本計画策定に係るスケジュールについて (2) 第1回検討委員会資料について 3 今後の予定 | |
| 非公開の理由 （会議を非公開とした場合） | — | |
| 傍聴者の数 | — | |
| 審 議 内 容 （概 要） | ・政策企画部長から挨拶 ・委員の出席及び会議の成立を確認 ・傍聴者の確認 議題の審議内容は、下記のとおり | |
| 備 考 | — | |

| |
|--|
| 1 あいさつ（公開） |
| 政策企画部長より挨拶。 |
| 2 委員長・副委員長の選出（公開） |
| 互選により、鈴木委員を委員長として選出。 委員長より小松委員を副委員長に指名。 |
| 3 基本計画策定に係るスケジュールについて（公開） |
| 事務局より基本計画策定に係るスケジュールについて説明し、意見交換を行った。 |
| ◇委員 |
| 6月の地区説明会は、東浦中学校区に対してのみで実施する予定か。 |

◇事務局

地区説明会は町民全体を対象とし、6月21日14時30分から文化センターで開催する。

◇委員

地区説明会で出た意見はどのように計画へ反映されるのか。

◇事務局

地区説明会で出た意見については、6月末頃の作業部会及び7月末頃の検討委員会において諮り、どのように計画へ反映していくかは8～10月に検討する予定である。

◇委員

説明会と聞くと一方的に伝える場というイメージがあるが、今回はあくまで意見交換の場と捉えてよいか。また、意見交換の場である場合は、パブリックコメントの前に生徒や教員、説明会参加者へフィードバックを行うのか。

◇事務局

今回の地区説明会では、現時点での決定事項の説明と意見聴取を半々で行う想定をしている。また、パブリックコメント前の計画全体がおおむね固まった段階でワークショップ等を開催し、より内容が固まった計画について説明を行う予定でいる。

◇委員長

スケジュールとしては、8月、9月及び10月はあまり稼働できずタイトな日程となる。その中で、庁内の検討内容が地域の方々にどう伝わるのか、また、地域の意見をどう計画に反映していくのかを委員の皆さんは心配している。その辺りが、現在の計画の中でどのような動きになるのか、少し意識していただきたい。また、こうしたプロジェクトが動き出すと、地域住民は「どうなるのだろうか」という心配が先に広がってしまうと思われるため、上手に進めていただきたい。

4 資料4検討委員会資料（1p～9p）

事務局より資料4検討委員会資料（1p～9p）について説明し、意見交換を行った。

◇委員

体育館について、耐力度調査を実施する予定はあるのか。

◇事務局

耐力度調査については、2026年度に実施する予定はないが、今後必要に応じて実施していく予定である。

◇委員

学校敷地内に送電線や鉄塔があるが、十分安全性が確保されているのか、それとも一定の危険性を想定しているのか。

◇事務局

鉄塔については、中部電力へヒアリングを行い、どのような対策が講じられており、どのような対応や配慮が必要となるのか、調査を進めていく予定である。

◇委員

崖地について、安全は担保されているのか。

◇事務局

崖地については、愛知県建築基準条例第8条で、崖地の高さの2倍の範囲は離れて建築することが求められているが、計算等により安全性が担保できる場合はこの限りではないと定められている。今回の配置計画では、崖地高さの2倍の離隔を確保することを前提として検討を進める予定である。

5 資料4 検討委員会資料 (10p~15p)

事務局より資料4 検討委員会資料 (10p~15p) について説明し、意見交換を行った。

◇委員

利用団体に関する利用頻度を見ると、「ほとんど使っていない」という回答が見受けられる。無回答も多いため、その点も含めて少し気になった。一方で、稼働率を見ると、例えばアリーナは75%となっており、アンケート結果との間にかなり差があるように感じる。片方の数字だけを見ると、「あまり利用されていないのではないか」という印象を受ける。

◇事務局

現在、どの団体が、どの程度の人数で利用しているのかを整理しており、今後さらに数値を精査していく予定である。別途いただいているデータとも照らし合わせながら、管理運営の検討の中で整理し、示していければと考えている。

◇委員

中学校との共用が可能なのか検討するため、利用実態については丁寧に把握していただくとともに、現状の体育館利用者への対応という視点だけではなく、今後を見据えた施設整備を行っていただきたい。

◇委員

近年は気候が激しく、体育館にも空調が整備されなければ、屋内であっても運動ができなくなるという問題がある。町民体育館への空調整備には多額の費用を要するが、避難所機能という観点から見ても、必要な整備であると考えている。また、今後の校舎整備では、将来的な人口減少や用途変更を見据え、転用しやすい構造とすることが重要であり、将来使いづらい建物にしないために、長期的な視点で議論を進める必要がある。

◇委員

中学校機能の中に不登校の生徒に対応する校内教育支援センターを位置付けておくべき。

◇委員

「共用化を進めることによって面積減を図る」という点について、次回はきちんと議論する必要があるのではないか。資料にある各種調査や方向性の検討ももちろん必要であるが、財政的な面で実現可能なものでなければ、この議論自体が絵に描いた餅になってしまうのではないかと懸念もある。また、共用化を進める場合、体育館以外の施設をどう扱うのかを詰めていかなければ、全体として面積を減らす方向にはつながらない。その際には、どの施設を削減するのかという議論もあるため、かなり負荷のかかる議論になると考えている。そのあたりについて、ぜひ次回は整理した資料をご準備いただきたい。

6 今後の流れ (公開)

事務局から今後の流れについて説明。

7 その他事項 (公開)

議題には無いが、会議の中で出た事項は以下のとおり。

- 体育館は避難所としての機能も担っているため、耐力度調査を実施する際には耐震性についても調査した方がよい。
- 複合化に向けたハード面の課題について整理する。
- 資料から東浦中学校や体育館の現状や課題が見て取れるようにするとよい。
- ふれあい教室について、事務局としては、現在地から別の施設へ移転する方向で検討しているが、担当課としてどうしていきたいか設置場所等について検討する。

- 東浦中学校の先生にヒアリングを実施するなど、先生たちと話す機会を作ったほうが良い。
- 通学路に関する課題についても整理する。